

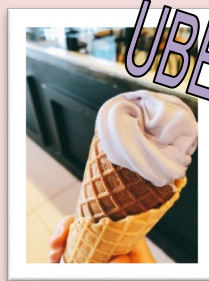
2018年度秋学期 セメスター語学留学

Letters from Manila

2019.2.13

こんにちは！マニラでの留学生活も、残り1か月ちょっととなりました。留学当初は、毎日気温が30度以上ありとても暑かったのですが、1・2月は1年間のフィリピンの気候の中で最も涼しい時期ということもあり、最近はとても過ごしやすくなりました。

留学しているアテネオ・デ・マニラ大学内には、フィリピンでも有名な綺麗な教会があったり、敷地がとても広いので、広々とした芝生が広がっておりとても心地よいです。当初は、大学内で迷子になっていましたが（笑）、今ではだいぶ慣れてきました。こちらの大学には多くの学生がいるので、特に平日は、食堂や図書館などの施設は活気に溢れています。大学の食堂や大学の近くにも、SISIG（シシグ）、HALO-HALO（ハロハロ）、UBE（ウベ）など沢山のフィリピン料理屋があり、フィリピンの食事を毎日満喫することができます。最初、食事が口に合うのか不安でしたが、どの料理もものすごく美味しいです。



そして、大学近くには大きなショッピングモールもありとても便利です。フィリピンの気候は1年中夏なのに、長袖の服が沢山置いてあったことや、日本食屋や韓国料理屋もたくさんあることに驚きました。また、フィリピンにしかない乗り物であるトライシクルに乗り、友達とショッピングを楽しんだりしています。大学から一番近いショッピングモールまで、トライシクルだと日本円で100円程で行くことができ、フィリピンの物価の安さを感じました。

このように、日本では味わえない生活や充実した生活を送ることができ、留学期間があつという間に感じています。帰国日が徐々に近づいていることに、驚きを隠せません。残りの時間も、悔いのないように過ごしたいと思っています。

（社会システム学科2年次生 R.I.より）